

## 編集後記

- 先日、教師だった父の手帳に色褪せた集合写真が挟まっているのを見つけました。父が最初に担任したのはたった7人の学級でしたが、お互いを思いやる優しい子どもたちだったそうです。変化の少ない人間関係を良好に保つには、他者を慮ることが必然だったのでしょうか。特集1を読みながら、人間関係の力を育てることは大規模校でも同様に必要で、その際に小規模校での取り組みが参考になるのではと感じました。
- 「誰のための個別の指導計画か」という問いから企画が始まった特集2でした。子ども本人にしてみれば、自分の知らぬところで目標が立てられ、評価されるというのは心地よいものではないはずです。Nothing about us without us。障害者権利条約策定の際に用いられた障害当事者たちの合い言葉です。学校での支援も、子ども本人（当事者）の思いや願いを尊重することで見えてくるものがあると思います。（き）

## 次号のお知らせ

- **特集1 卒業を迎える**  
不登校の子に贈る言葉  
さまざまな事情や思いを抱えながら、不登校の子は卒業という変化のときを迎えます。その節目を前向きに受け止め、次のステップへと進むために、どのような言葉をかけたらいいかを考えます。
- **特集2 相談・連絡が頻回な保護者**  
不安や悩みを抱えていたり、学校に不信感を抱いていたりする保護者からの連絡や相談は、頻回になることがあります。保護者との関係を損なわずにどう対応するか、ポイントや工夫を紹介します。



# 月刊学校教育相談

2025年 令和7年 2月号

定価 880円（本体 800円）

2025年2月1日発行

●発行所

**ほんの森出版株式会社**

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史  
編集担当：金原優

●印刷所 研友社印刷(株)

## ほんの森掲示板



- ・1987年の創刊以来、『月刊学校教育相談』は、学校現場で真に役立つ情報を求め、発信してまいりました。しかし昨今、ネットやSNS等、情報収集方法の幅が広がる状況の中、月刊誌という形態での発行が難しくなりました。まことに残念であります。次号2025年3月号をもちまして休刊することとなりました。これまでご愛読くださり、深く感謝申し上げます。今後は、書籍等で学校教育相談にかかわる情報を発信していきます。これまでと同様のご愛顧をいただけますよう、お願い申し上げます。



## 学校教育相談 理論と実践のガイドブック

一般社団法人日本学校教育相談学会／企画  
春日井敏之・梅川康治・  
栗原慎二・藤原忠雄／編著

定価2,200円（税込）

1月増刊号が単行本になりました。詳しくは、裏表紙の広告をご覧ください。学校教育相談のスキルアップのための必携書の誕生です！ お知り合いの先生方におすすめいただけますと幸いです。